

西穂高岳山行記録

1

【日程】 令和1年1月30日（月）～令和2年1月1日（水）

【行程】 12月30日（月）

10：40 新穂高ロープウェイー西穂高山荘（テント泊）

12月31日（火）

7：20 テント出発ー7：45 西穂丸山ー7：10 西穂高山荘着（テント泊）

1月1日（水）

6：15 御来光ー6：40 西穂丸山（7：05 御来光）ー7：30 西穂山荘ー

10：40 新穂高ロープウェイ

【メンバー】 CL土屋 SL西岡 佐藤（健） 小宮山 宮城 平野 山口（記録）

潤沢岳西尾根から奥穂高岳の計画でしたが新穂高に到着したら強めの雨。そして、ズブ濡れになって撤退してくるグループが。

聞くと、白出沢出会いから上はトレースは全くないとのこと。CL・SLを中心に相談の結果、第2案の西穂高岳に変更。（山行管理者の方にはお手数をおかけしました。）



そうと決まれば、新穂高ロープウェイへ。西穂高口駅まであがれば雪の世界。

ロープウェイから見ると、標高1800メートル位までは、雪を纏ったクマザサなどのブッシュが見える。当初の予定どおり潤沢岳西尾根に取り付いていると、ラッセルではなく藪こぎになっていたはず。西穂高岳に変更して正解でした。

ロープウェイを降りて西穂山荘のテント場へ向かう。

今回は天気も悪く、風も強そう。みんなでテントのまわりに雪壁をせっせと作ってからテントで宴会開始です。

今回の山行は、年末年始ということもあり、食事担当の平野さん、小宮山さんの食事メニューが豪華で凄かったです！

初日の夜ごはんはなんと手巻き寿司。

宮城さんもイクラたっぷりの手巻き寿司を作ってご満悦



2日目の大晦日は視界不良。朝にテントを出発したものの、やはり風も強く丸山までしか行けず引き返すことに。



—丸山ピーク—

—西穂山荘内でワイン付き昼食—

山荘で暖を取った後、このままでは美味しい料理のお陰で太ってしまうので、運動不足解消とお酒、水の調達のためロープウェイ駅までみんなで行ってきました。

ロープウェイ駅までの下りの途中、「岐阜県警 RESCUER」と書いたお揃いのヤッケを着た

一団とすれ違った。何かあったのかなー・・・

大晦日のこの日は次から次へと新年を山荘で迎える人たちが入山してきて、昨日とは打って変わり、山の中はとても賑やかでした。



大晦日の夜ごはんは栗きんとん、黒豆にメインはステーキでした。

土屋さんの焼き加減も最高で激ウマ！

料理をしていると、昼間会った岐阜県警の方が「明日の元旦の朝は天気が良いが、風は強い、10時ごろから荒れてくるので、丸山までにした方が良いでしょう。」と大声で知らせていました。

ラジオで紅白歌合戦を聞きながら年越しそばを食べました。

山荘ではカウントダウンパーティーをしているようでしたが私たちはご来光を拝むために早めに就寝。空には数え切れないほど多くの星が輝いていました。



元旦は朝からお雑煮を作ってくれたのでみんなで食べてからご来光を拝みに出発しました。

予報どおり元旦の朝は快晴、でも風は強くこの先の悪天候を予告しているようでした。

晴れの天気も間もなく崩れるとのことなので、この先はトレースが全く無いこともあり、やはり丸山までにしました。(私たちの後に丸山に到着した岐阜県警の方達は、トレースを付けながら独標の方に向かって登って行きました)

今回の山行は天候に恵まれず、どの山頂に到達することはできませんでしたが、ご来光はバッチリ拝めました。



そんな感じで食べて飲んでばかりでみんなひとまわり成長した山行でした (笑)



—みなさん今年もよろしくお願ひします—

余談ですが、29日に西穂高岳に単独で登り、悪天候で下山路を失い帰らぬ人となった若い男の人がいたとのことでした。彼は、西穂山頂から28日の夜に泊まった西穂山荘に、「道に迷った」と電話してきたそうです。28日から29日の早朝にかけては好天だったようですが、その後、天気は急変し、私達が入山した30日には猛吹雪だったはずですが、31日に数人のレスキュー隊が登ってきたこと、元旦の朝の晴れ間に西穂山頂付近をヘリコプターが旋回していたのは、やはり重大な事故があったためだったのだ。

元旦には、頑張れば西穂山頂も行けたかもしれないけど、あえて西穂独標すら踏まなかった今回の私達の山行も「山は、頂上を目指すためだけでなく、一番は楽しむために行く」と考えれば、料理は美味しかったし、2020年元旦の御来光も拝むことができ、結構いい山旅だったと思います。